



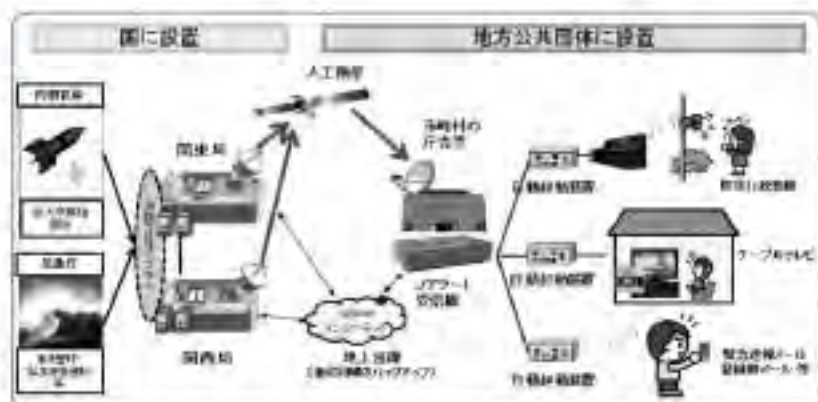
内田 雅人 議員

質問

Jアラートの受信と自動起動は万全か

町長

不具合は無かった 今後も万全を期す



Jアラートの仕組み。人工衛星を通じ瞬時に発信される。発動時の対処の仕方もしっかり入れておきたい

北朝鮮の相次ぐミサイル発射や核実験に緊張が高まっているが、町単位でも万全を期しておかなければならない。

トラブルが起きた。奥出雲町ではトラブルなどは確認されなかったか。また設置されているJアラートの受信機や自動起動装置の管理点検は万全か。町長 不具合は無く、正常に情報伝達が行わ

れた。点検により適切な維持管理に努めている。今後も情報伝達訓練に参加し万全を期す。*Jアラート発動時の個々の対処について、もっと周知をお願いします。

地震調査の加速を

災害復旧や公共事業、個人の登記などにもメリットが大きい地籍調査だが進捗状況は40%で、鳥根県の平均も全国の平均も下回っている。完了まであと59年かかるとのことだが、予算的には実質町負担は5%であり、もっと加速させるべきだ。

町長 加速すべきと認識しているが交付金が少なく進まないのが実情だ。人材の確保にあわせ県にも予算を強く要望し、早期に事業を拡大していきたい。

*明らかになれば議会への報告を求める。

気象予報士の活用で防災力向上を

昨年気象予報士を自治体に派遣するという国の事業があり、災害時に防災気象情報を適切に活用できたとし、今後自治体が独自で気象予報士を活用するよう促している。

奥出雲町は土砂災害危険区域が多く、農業など気象と生活が直結する人も多い中で、町内のピンポイントかつタイムリーな気象情報の提供や解説は、とても有益なことだ。

気象予報士を活用し防災力向上につなげるべきではないか。町長 現時点では考えていない。県の総合防災情報システムとの運用と松江気象台の予報官と連携している。

町内に資格を持った地元を愛する人材が誕生している。そういう人材を活用すべきだ。

松江気象台が行う説明会の模様をケーブルテレビで放送するなどの情報提供で対応している。

管轄ハンクドナーへ支援を

病魔と闘いながら提供者を待っていてやっとなが合うドナーが見つかったが、経済的負担を理由に提供を断られることが多いと聞く。非常に辛いことだ。町内の提供されるドナーに経済的な支援をすべきではないか。町長 ドナー登録や県の支援制度に普及啓発を行っているが、より一層強化する必要がある。来年度の支援制度の導入に向け現在検討している。

町政のこころを聞く

質疑の一部を要約してお伝えします

質問時間は、一人30分以内。今回は12人が登壇しました。